

設定ガイド

16/24ポート ギガビット 据え置き/ラックマウント対応 スイッチングハブ
LiteWave LS1016G/LS1024G

注: このガイドではLS1016Gを例に説明します。
画像は実際の製品と異なる場合があります。

ステータスLEDの表示と内容

Powerランプ

点灯: 電源が入っています。

消灯: 電源が入っていないか、電源に異常があります。

点滅: 電源異常/ループ防止機能が有効になっています。

Link/Actランプ

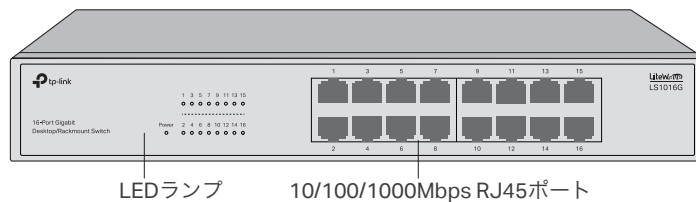
点灯: 接続先デバイスとのリンクが確立され、正常に動作しています。

消灯: 接続先デバイスと対応するポートとのリンクが確立されていません。

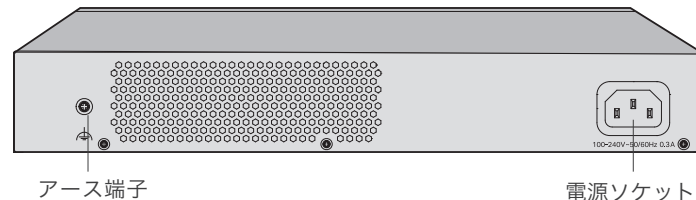
点滅: データ送受信中です。

各部の名称とはたらき

前面パネル



背面パネル



その他

アース端子

本製品には雷保護機能が搭載されていますが、電源コードのPE(保護アース)線またはアース線で本製品を接地することもできます。

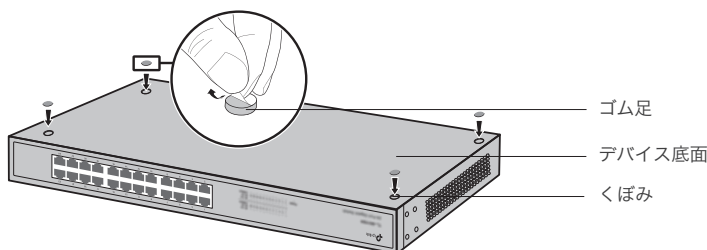
電源ソケット

電源コードのメスコネクタを直接電源ソケットに差し込み、オスコネクタを電源コンセントに差し込みます。電源の電圧が入力電圧(100-240V ~ 50/60Hz)の要件を満たしていることを確認してください。

画像はイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

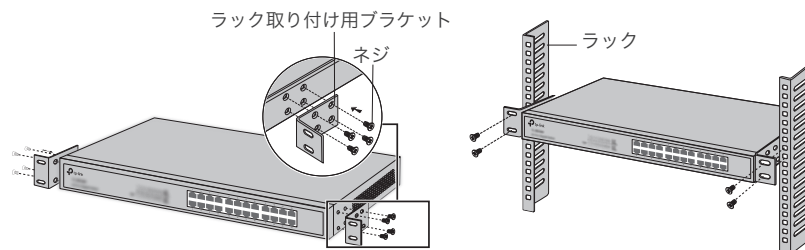
設置

方法1: 平らな場所への設置



- 1) 付属しているゴム足の粘着テープを剥がします。
- 2) 本製品底面の四隅のくぼみ部分に、付属のゴム足を取り付けます。
ゴム足は滑り止めの役割を果たします。

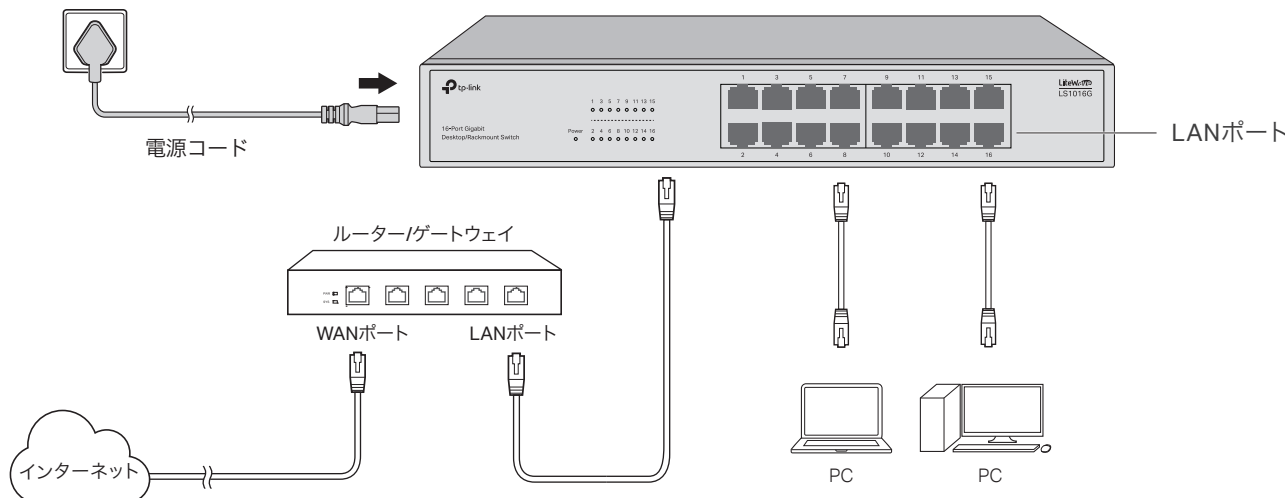
方法2: ラックへの取り付け



注:

- 本製品の周囲に5~10cmの隙間を空け、通風口をふさがないようにしてください。
- 本製品の上に物を置かないでください。
- 本製品の底面が下向きになるように設置してください。
- 本製品を複数台ラックに取り付ける場合は、製品同士の間隔をあけ通気性を確保し、ラックの下から上へ順番に取り付けてください。

接続



仕様

一般仕様

規格	IEEE 802.3, IEEE 802.3i, IEEE 802.3u, IEEE 802.3ab, IEEE 802.3x, IEEE802.1p
プロトコル	CSMA/CD
インターフェース	16/24 10/100/1000Mbps RJ45ポート オートネゴシエーション/オートMDI/MDIX
ネットワークメディア (ケーブル)	10Base-T: カテゴリ－3以上の2-pair UTP/STPケーブル(最長100m) 100Base-TX: カテゴリ－5以上の2-pair UTP/STPケーブル(最長100m) 1000Base-T: カテゴリ－5e以上の4-pair UTP/STPケーブル(最長100m)
スイッチング容量	LS1016G: 32Gbps LS1024G: 48Gbps
転送方式	ストア&フォワード
MACアドレス学習	オートラーニング、オートエージング
フレーム フォワードレート	10Base-T: 14881pps/ポート 100Base-X: 148810pps/ポート 1000Base-T: 1488095pps/ポート

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

- 設置は必ず本製品の電源を落とした状態で行ってください。
- ESD防止用のリストストラップを着用し、リストストラップが皮膚に密着し、接地されていることを確認してください。
- 電源コードは必ず本製品の付属品を使用してください。
- 電源電圧が本製品の背面パネルに記載されている仕様と一致していることを確認してください。
- 本製品は風通しの良い環境に設置してください。その際、通気口をふさがないようにご注意ください。
- 本製品のカバーを開けたり、取り外したりしないでください。
- 本製品を清掃する際は、電源を切ってください。水拭きや液体を使った清掃は絶対に行わないでください。
- 本製品の底面を下にして置いてください。

雷保護

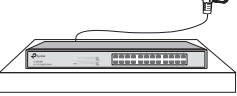


雷が発生すると瞬間的に非常に高い電圧電流が発生し、放電経路の空気は20,000℃まで加熱されます。電子機器を損傷する恐れがあるため、より効果的な雷保護対策を講じる必要があります。ラックと本製品がしっかりと接地されていることを確認してください。

- 電源ソケットがアースとしっかりと接触していることを確認してください。
- 適切な配線を維持し、誘導雷を避けてください。
- 屋外で配線する場合は、信号SPD(サージ保護デバイス)を使用してください。

注:
雷保護対策の詳細については、雷保護ガイドを参照してください:
https://www.tp-link.com/us/configuration-guides/lightning_protection_guide

設置場所



本製品をラックや平らな場所に設置する場合は、以下にご注意ください:

- 強度のある平らで安定した場所に設置してください。
- 通気性の良い場所に設置してください。
- ラックに取り付けた場合、適切に接地してください。設置場所はコンセントから1.5メートル以内にしてください。

よくあるご質問 (FAQ)

Q1. Powerランプが点灯しない場合

電源システムが正常に動作をしている場合、Powerランプが点灯します。
点灯しない場合は以下をご確認ください。

A1: 電源コードが本製品の電源ソケットとコンセントに確実に接続されていますか。

A2: 電源の電圧が本製品の入力電圧の要件を満たしていますか。

A3: コンセント等の電源に異常がありませんか。

Q2. デバイスが接続されているのに、Link/Actランプが点灯しない場合

以下をご確認ください。

A1: LANケーブルを正しく接続していますか。

A2: 接続先デバイスの電源は入っていますか。

A3: LANケーブルの長さが100mを超えていませんか。

Q3. ループ防止機能を有効にしているにも関わらず、ネットワークループが検知および遮断されない場合

A: 本製品を他社製品など他の非端末デバイスと接続し、そのデバイスがループ検出パケットを正しく処理または転送できない場合、ループ防止機能は制限されます。端末を本製品に直接接続するか、十分な転送機能を備えた非端末デバイスを接続することを推奨します。

使用環境

温度/湿度



設置場所は適切な温度と湿度に保ってください。湿度が適切に保たれていない場合、絶縁不良・漏電・機械的性質の変化・腐食を引き起こす原因となります。高温な場所に置かれた場合、絶縁材料の老化を早め、製品の寿命を著しく縮める可能性があります。

清潔さ



製品に蓄積したホコリが静電気に吸着し、金属接点の接触不良を引き起こすことがあります。本製品には静電気対策が施されていますが、静電気が強すぎる場合、内部基板上の電子素子に致命的なダメージを与える可能性があります。静電気による影響を避けるために、以下の点に注意してください:

- 定期的に製品の清掃を行い、室内の空気を清潔に保ってください。
- 本製品をしっかりと接地し、静電気を逃がしてください。

電磁干渉



本製品のキャパシタンスやインダクタンスを含む電子素子は、容量結合・誘導結合・インピーダンス結合による伝導放射などの外部干渉の影響を受けることがあります。干渉を低減するために、以下の対策を必ず行ってください:

- 送電網からの干渉を効果的にフィルターできる電源を使用してください。
- 無線送信所など、高周波や強い電流を放つデバイスから遠ざけてください。
- 必要に応じて電磁シールドを使用してください。

安全にご使用いただくために

- 製品を火気・高温から遠ざけてください。水やその他液体には絶対に浸さないでください。
- 製品の分解・修理・改造等をしないでください。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
- 底面を下にして置いてください。
- 手の届きやすい場所に設置してください。
- コンセントの近くに設置してください。
- 電源コードをコンセントに差し込む際は、アース線を必ず接地してください。

本製品を使用する際は、上記の注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項を遵守されなかった場合、使用者の負傷や製品の損傷を引き起こす可能性があるため細心の注意を払ってご使用ください。

🕒 テクニカルサポートやその他の情報に関しては、下記URLをご参照、もしくはQRコードをスキャンしてご確認ください。
<https://www.tp-link.com/support/?type=smb>

